

にしとうきょう



いこいな
©シエイ/西東京市

一人ひとりが**健幸**になるまちへ 形あるものを次世代に

令和8年の第1回市議会定例会は2月26日に開会し、一般会計予算案や各種議案を審議しています。
開会に当たり池澤隆史市長が施政方針を表明しました。

施政方針

若者とともに、市民とともに、
子どもたちの笑顔が輝き、
すべての人が幸せを実感できるまちへ

全文は、市庁・情報公開コーナー(田無庁舎5階)・図書館で見ることができます。

▶企画政策課
☎042-460-9800



市庁

はじめに

私が2期目の市政運営を担ってから1年が経過しましたが、去年は戦後80年の大きな節目であり、次世代を担う若者を現地に派遣する「戦後80周年平和大使派遣事業」を実施したことは、大変意義深いものでした。私自身も平和大使の皆さんと行動を共にし、広島を歩き、広島平和記念式典に参列するなど、現地での体験や若者たちとの交流を通して、平和大使である若者たちが平和を「自分事」として捉え成長する姿に、平和への願いを未来へつなぐ「確かな一歩」を肌で感じました。こうした若者たちの頼もしい姿に触れることで、私自身も、市政を一步一步、着実に前に進める決意を新たにしたいところです。

これからのまちづくりに向けて

我が国は今、かつてない社会変革の中にあります。「2025年問題」は現実のものとなり、生成AIをはじめとするデジタル技術の進化や気候変動など、社会の枠組みは大きく変容しています。人口構造の変化や環境の激変が重なる今こそ、将来を見据え、循環型社会を築くため、これまでの取組を止めることなく、私たち一人ひとりが今やるべきことを共に考え行動し、さらなる改革を進める必要があります。

本市は、令和7年度に国から選定された「SDGs未来都市」としての取組を推進力に、まちづくりを進めます。令和8年度はSDGs未来都市計画を一部改定し、SDGsの理念に「スマートウェルネスシティ」の視点を加え、健幸(ウェルネス)に住み続けられるまちづくりを進めます。誰もが健やかに暮らせる「SDGs未来都市・西東京」を目指すとともに、第3次基本構想に掲げる「ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京」の実現に向け、市民一人ひとりが幸せを実感できる「ウェルビーイング」の向上に着実に取り組みます。

また、令和8年度においても、私の政策の4つの柱である「子どもが『ど真ん中』のまちづくり」「次世代につなぐ環境施策」「恒久平和への願いを市民とともに取り組む平和施策」「若者と一緒にまちづくりを推進する若者施策」を基軸として、これらをさらに発展させ、市民の皆様がこのまちに住み続けたいと思っていただけるよう、皆様のお声に耳を傾けながら、次世代へ歩む責任ある選択に、着実に取り組みます。



西東京市SDGs未来都市計画

本計画は「ともにみらいにつなぐ、『健幸』に住み続けられるまち西東京」を将来像に掲げています。経済・社会・環境の好循環へ向け、地域産業の活性化、健康で自分らしく暮らせる社会、脱炭素・循環型社会の構築を推進します。特に田無駅周辺の再整備や交通網強化による「健幸」空間創出プロジェクトを核とし、多様な主体との連携で、誰もが豊かに暮らせる持続可能な都市の実現を目指します。

また、市ではSDGs未来都市に選定されたことを契機に、さらなる普及啓発活動の一環として、ロゴマークを作成しました。このロゴマークは、多世代が支えあい、平和の輪(リング)でつながるまちづくりや、市が目指す「子どもが『ど真ん中』のまち」をイメージしています。



市庁



SDGs未来都市
ともに未来につなぐ「健幸」のまち
Nishitokyo City

ともにみらいにつなぐ、「健幸」に住み続けられるまち

活力と魅力あるまち

- 地域産業の強化と「西東京ブランド」の構築
- 「農」とまちの共生
- 交流とにぎわいでまちを活性化

環境にやさしい持続可能なまち

- 温室効果ガスの削減取組の強化
- 多様な連携で環境意識を向上
- 循環型社会の構築



笑顔で自分らしく暮らせるまち

- いつまでも健康で元気に暮らす
- 子どもが安心して過ごす・育つ
- 多世代がつながる自立した地域